

【新着情報】

漢口駅の増築工事：

江漢区政府の情報によると、2009 年末落成予定であった漢口駅の改修工事が増築工事に変更される。これにより斬新な外観の駅舎が登場するだけでなく、駅周辺の商業施設もリニューアルされるも予定である。

現在、増築されている漢口駅の地下スペースは北へ延長され、総面積は 5.7 万平方メートルまで拡大される予定である。また周辺道路のうち、1 本を拡張し、行き止まりになっていた 3 つの道路にアクセスすることになる。こうして新たに増築された商業スペースは、起業家の進出の拠点になると期待される。

近年漢口駅周辺に、多くの高級マンションが建設されており、住民の購買意欲は明らかに向上している。

都市鉄道 2 号線が完成すると、漢口駅から王家墩商务区、武漢広場、中南デパート、及び光バレー商業圏が一路線で結ばれる、このため漢口駅のある常青街の管理者によると、「漢口駅商業圏は武漢広場、新世界グループに次ぐ第三の武漢商業圏になる見込みだ」と述べた。



漢口駅周辺地図

武漢東西湖保税物流センター近日オープン:

国家税関本部、財政部、税務総局、外貨管理局による合同の検査を受け、「武漢東西湖保税物流センター」が正式にオープンした。これは中国国内において、保税物流センターのモデル地区の試行拡大以降、最初の正式なセンターとなる。

当センターは4月中旬からセンターエリア内において、簡易通関が実施される。これにより武漢市は中部地域で初めて「自由貿易港」としての待遇を受ける都市となる。

これまで国内では、蘇州、南京、北京のみ保税センターがあった。

当センターはエリア内で自己完結するシステムが採用されており、国際買付センター及仕分、配送センターとして、国際貨物のトランスファー、買付、仕分、配送、中継貿易の役割を一体化させた総合センターとなる。